

令和5年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語	学年・類型	1年	必修・選択	単位数(週時数)	4.5
教科書	SUNSHINE ENGLISH COURSE1 (開隆堂)							
副教材等	E-PLUS ① (秀学社) 英語のたてよこドリル 1年 (正進社)、3分リスニング初級 (正進社)							

学習の目標	積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする気持ちを持つことです。そのために、聞き取りや読解の力をつけ、話し手や書き手の考えや意向を理解し、適切に応答・行動することができるようになります。また、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話したり書いたりして、相手に伝えることができるようになります。
学習の方法	音読、リスニング、反復練習、ペアワーク等、コミュニケーション能力の基本となる実践的な活動に積極的に参加しましょう。ALT とのティームティーチングの授業もあります(予定)。自分の伝えたいことを英語で話す姿勢を身に付けましょう。また英語の基礎となる語い、文法もきちんと理解しましょう。
評価の規準	<p>1 知識・技能 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。</p> <p>2 思考・判断・表現 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価の方法	授業中の取組、意欲、活動態度はもちろん、各課題や自学ノートの提出、小テストでの成果等が評価の大きな基準になります。定期考査は総合評価の1つの基準となります。観点別規準である「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」をバランスよく習得できることが望ましいと考えます。

	単元	主な学習内容
1 学期	Get Ready 中学校英語をはじめよう PROGRAM 0 アルファベットを確かめよう PROGRAM 1 友だちを作ろう PROGRAM 2 1-B の生徒たち PROGRAM 3 タレントショーを開こう PROGRAM 4 Let' enjoy Japanese Culture Our Project 1 あなたの知らない私	自分が普段することについての表現を学習し、積極的にやりとりすることができるようになります。「～できる」や「～できない」の表現を学ぶことで、動物などができるといふことについて意欲的に表現できるようになります。また自分や相手以外の人や物についての表現を学び身近な物や人について意欲的に表現できるようになります。
2 学期	PROGRAM 5 The Junior Safety Patrol PROGRAM 6 The Way to school PROGRAM 7 Research on Australia PROGRAM 8 The Year - End Events Our Project 2 この人を知っていますか	「なぜ～？」や「なぜなら～」の表現を学び、お気に入りの人物について意欲的にやりとりすることができるようになります。また、自分の地域の特徴や交通手段について伝え合うことができるようになります。マッピングを使用し、分かりやすいスピーチをする力を身に付けることができます。
3 学期	PROGRAM 9 A trip to Finland PROGRAM 10 Grandma Baba' s Warming Ideas! Our Project 3 私が選んだ1枚	今していることについての表現を学び、年末年始の過ごし方について、自分がどのような過ごし方をするのか伝えることができるようになります。また、「～した」や「あの時～していた」という表現を学び、過去にどのようなことをしたのか意欲的にやりとりできるようになります。

令和5年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語	学年・類型	2年	(必修)・選択	単位数(週時数)	5
教科書	SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 (開隆堂)							
副教材等	E-PLUS② (秀学社) 中2徹底演習テキスト英語 (増進堂) さくさく Writing 2年 (浜島書店) 3分リスニング[中級] (正進社) 読みトレ 50 (浜島書店) 中学夏季テキスト実践編 中2 (文理) 中学冬季テキスト実践編 中2 (文理)							

学習の目標	外国語を通して、海外の言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けます。また、初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを話したり書いたりできるようにします。
学習の方法	興味をもって英語を楽しみましょう。習った表現をいろいろな場面で使ってみてください。授業中の活動や課題に積極的に取り組みましょう。ALT とのチームティーチングの授業もあります。教科書を繰り返し音読し、単語や基本文は確実に覚えましょう。反復練習など、毎日こつこつ取り組むことが大切です。
評価の規準	<p>1 知識・技能 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。</p> <p>2 思考・判断・表現 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価の方法	「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」などの観点から授業の態度、活動への取組、各課題の提出、小テストの成績や定期考査の成績などを総合的に評価します。

	単元	主な学習内容
1 学期	PROGRAM 1 Start of a New School Year PROGRAM 2 Leave Only Footprints PROGRAM 3 Taste of Culture Our Project 4 「夢の旅」を企画しよう Reading 1 Gon, the Little Fox	未来表現、接続詞(when, if)、think (that)~、must や have (has) to ~、to 不定詞などを学ぶことで、夏休みの予定をまとめて書いたり、旅行の計画を立てたりすることができるようになります。 また、天気予報や電話で使う語句や表現を学び、いろいろな場面を理解し、説明できる力を身につけます。
2 学期	PROGRAM 4 High-Tech Nature PROGRAM 5 Work Experience PROGRAM 6 Live Life in True Harmony Our Project 5 こんな人になりたい Reading 2 Friendship beyond Time and Borders	比較級や最上級、how to ~、look + 形容詞、主語+動詞+人+ものなど文の働き、受け身などの表現を学ぶことで、ある人物について他の人に説明したり、自分の好きなものをより詳細に伝えたりする力を身につけます。 また、職業体験についても学び、将来自分がしたいことについての意識を高めます。
3 学期	PROGRAM 7 A Gateway to Japan PROGRAM 8 A Hope for Lasting Peace Our Project 6 この1年で得た「宝もの」 Reading 3 Visa of Hope	現在完了 (完了、継続、経験)、現在完了進行形、動名詞などの表現を学び、この1年間で自分が得た「宝もの」を、その理由も含めて文章にまとめ、発表する力を身につけます。 また、相手が未知なものについて説明したり、相手が納得してもらえるような自分の主張を、理由を含めて伝えたりすることができるような力を身につけます。

令和5年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語	学年・類型	3年 必修	単位数(週時数)	4.5
教科書	SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 (学校図書)						
副教材等	E-PLUS 3 (秀学社) 徹底演習テキスト中3英語 (受験研究社) 読みトレ 100 (浜島書店) さくさく Writing 3 (浜島書店) 3分リスニング上級 (正進社)						

学習の目標	まず、「聞くこと」、「話すこと(やり取り)」、「話すこと(発表)」、「読むこと」、「書くこと」の5技能をバランスよく身に付けましょう。また、様々な話題やテーマについての知識を身に付けて、異文化理解だけでなく、自国の文化や風習を紹介できる能力を習得しましょう。そして、中学3年間で習う基本的な表現、文法、語いをしっかりと学習しましょう。
学習の方法	音読、リスニング、反復練習、ペアワーク等、コミュニケーション能力の基本となる実践的な活動に積極的に参加しましょう。ALTとのティームティーチングの授業もあります。自分の伝えたいことを英語で話す姿勢を身に付けましょう。また、スピーチやプレゼンテーション、ディベートの練習もします。英語の基礎となる語い、文法もきちんと理解しましょう。
評価の規準	<p>1 知識・技能 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。</p> <p>2 思考・判断・表現 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりしている。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価の方法	授業中の取組、意欲、活動態度はもちろん、各課題や自学ノートの提出、小テストでの成果等が評価の大きな基準になります。定期考査は総合評価の1つの基準となります。観点別規準である「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」をバランスよく習得できることが望ましいと考えます。

	単元	主な学習内容
1 学 期	Program 1 Bentos Are Interesting! Program 2 Good Night. Sleep Tight. Program 3 A Hot Sport Today Our Project 7 記者会見を開こう Reading 1 Faithful Elephants	「人が…するのは～だ」や「どこで～したかを覚えている」、人やものの呼び方などの表現を学ぶことで、日本や海外の文化について話したり書いたりする力を身に付けます。また、記者会見をしたり、聞いたりする活動を通して情報や気持ちを伝え合うことができるようになります。
2 学 期	Program 4 Sign Languages, Not Just Gestures! Program 5 The Story of Chocolate Program 6 The Great Pacific Garbage Patch Our Project 8 あなたの町を世界にPRしよう Program 7 Is AI a Friend or an Enemy? Reading 2 Malala's Voice for the Future	「～している人」や「～されているもの」などを表現したり、人やものをくわしく説明して表現したりすることで、自分の好きな人やものについて述べたり、日本のものをくわしく紹介する活動に意欲的に取り組んだりすることができるようになります。また、自分の地元の魅力を外国人の人に知ってもらうために即興で伝え合うことができるようになります。
3 学 期	Further Reading 1 Further Reading 2	中学3年間の学習を踏まえ、総合的な英語の学習を行います。写真やイラストを用いた導入から本文の内容に入り、思考力・判断力を身に付け、章末では自分の意見を言ったり、相手の意見を聞いたりすることで主体的な表現力を身に付けます。

令和5年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションI	学年・類型	4年	必修・選択	単位数(週時数)	3
教科書	Power On English Communication I (東京書籍)							
副教材等								
学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。 聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 書いたり話したりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。 言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。 							
学習の方法	<p>英語力は、地道な努力を積み重ねることによってはじめて身に付くものです。予習復習を確実にを行い、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の4領域をバランスよく伸ばしましょう。</p> <p>聞く力をつけるために、内容理解の終わった英文を音声教材をモデルにして何度も音読しましょう。正しい発音を身に付けることで正しく聞き取れるようになります。</p> <p>話す力をつけるために、まず作文能力を伸ばしましょう。会話力は作文力と密接に関係しています。</p> <p>読む力をつけるために、英語は語順通りに読みましょう。そしてたくさん英文を読みましよう。</p> <p>読解力の伸長は、リスニング力の向上にも貢献します。</p> <p>書く力をつけるために、文法に対する理解を深めましょう。また英文独特の文章構成も同時に身に付けましょう。</p>							
評価の規準	<ol style="list-style-type: none"> 知識・技能 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる。 思考・判断・表現 コミュニケーションを行う場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解し、これらを活用して適切に表現したり、伝え合うことができる。 主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 							
評価の方法	上記の観点を踏まえ、定期考査及び小テストの成績、課題の提出状況、授業への取組を総合的に判断して評価を行います。							

	単元	主な学習内容
1 学期	Lesson 1 Japan's New Tourism Lesson 2 Light from Creatures Lesson 3 Routes to the Top Lesson 4 Left to Right, Right?	体験型ツーリズム、生物の光研究に関する生徒の発表、スポーツクライマーへのインタビュー、日本の漫画について学びます。動詞の時制、助動詞、受け身の使用方法について学びます。
2 学期	Lesson 5 Banana Paper Lesson 6 Patterns in Human Behavior Lesson 7 No Plastic or No Future Lesson 8 Oh My Cod!	ザンビアのバナナペーパー、人間の行動パターン、プラスチックがもたらす環境破壊、フィッシュ・アンド・チップスについて学びます。関係代名詞、SVOCの文、関係副詞、分詞構文、過去完了について学びます。
3 学期	Lesson 9 Is E-sports a Real Sport? Lesson 10 Being Different Is Beautiful Optional Reading	eスポーツについて、写真家に関する記事について、イチローに宛てたある手紙について学びます。原形不定詞、現在分詞、仮定法過去について学びます。

令和5年度 シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現 I	学年・類型	4年	必修・選択	単位数(週時数)	2
教科書	Standard Vision Quest English Logic and Expression I (啓林館)							
副教材等								

学習の目標	<p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。具体的な言語活動は次の通りである。</p> <p>ア 与えられた話題について、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。</p> <p>イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。</p> <p>エ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。</p>
学習の方法	<p>文法・表現を学び、与えられた課題について、文章、パラグラフ、要約文などを書きます。また、自らの意見を、適切な表現を用いて伝えることを学びます。授業に集中し、予習、復習を必ず行うことで、表現力を伸ばすことができます。</p>
評価の規準	<p>1 知識・技能 賛成・反対の意見を、論理の構成や展開を工夫して伝え合うために必要となる表現を理解している。</p> <p>2 思考・判断・表現 日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、賛成・反対の意見を論理の構成や展開を工夫して話したり、書いたりすることができる。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、相手の意見に応じて、賛成・反対の意見を論理の構成や展開を工夫して話したり、書いたりしようとしている。</p>
評価の方法	<p>上記の観点を踏まえ、授業中の活動、発表、課題の提出、小テスト・定期考査などを総合的に判断して評価を行う。</p>

	単元	主な学習内容
1 学期	<p>L1 I want to introduce my new friend.</p> <p>L2 Do you want to join our show?</p> <p>L3 I'm planning a day trip this weekend.</p> <p>L4 Have you ever tried it before?</p>	<p>初対面で行われる自然な会話や学校の習慣の紹介、学校の文化祭での留学生とのやりとり、旅行の計画や予定、趣味・関心について、相手に物事を尋ねたり伝え合ったりする方法を学びます。様々な文の種類、5文型、時制、完了形など、基本的な文の表現について学びます。</p>
2 学期	<p>L5 What do you want to do after school?</p> <p>L6 Did you hear about the new shop?</p> <p>L7 I'm happy to have you with us.</p> <p>L8 What sport do you like playing?</p>	<p>将来や進路について、日常生活での生徒同士の会話、誕生日会での交流、スポーツチームでの会話などを通して、様々な場面において相手に意思を伝え合う方法を学びます。助動詞、受動態、不定詞、動名詞について学び、表現する文の幅を広げます。</p>
3 学期	<p>L9 Digital media has come a long way.</p> <p>L10 That's why I decided to go back.</p> <p>L11 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones?</p> <p>L12 I think it's a good idea.</p>	<p>メディアを通じたコミュニケーションについて、異文化についての紹介、フェアトレードや日本の社会問題について学び、自分の意見や考えを伝える方法を学びます。分詞、関係詞、比較、仮定法について、表現する文の幅を広げるとともに、ディベート、ディスカッションを通じて、論理的に発言する方法を学びます。</p>

令和5年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	学年・類型	5年 必修 ・選択	単位数(週時数)	4
教科書	Power On English Communication II (東京書籍)						
副教材等	Database 4500, Unite 3						
学習の目標	<p>1 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。</p> <p>2 幅広い話題について聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。</p> <p>3 幅広い話題について書いたり話したりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。</p> <p>4 言語や運用についての知識を身に付け、背景にある文化を理解することができる。</p>						
学習の方法	<p>英語力は、地道な努力を積み重ねることによってはじめて身に付くものです。予習復習を確実にを行い、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」の4領域をバランスよく伸ばしましょう。</p> <p>聞く力をつけるために、内容理解の終わった英文をCD等をモデルにして何度も音読しましょう。正しい発音を身に付けることで正しく聞き取れるようになります。</p> <p>話す力をつけるために、まず作文能力を伸ばしましょう。会話力は作文力と密接に関係しています。</p> <p>読む力をつけるために、英語は語順通りに読みましょう。そしてたくさん英文を読みましょう。</p> <p>読解力の伸長は、リスニング力の向上にも貢献します。</p> <p>書く力をつけるために、文法に対する理解を深めましょう。また英文独特の文章構成も同時に身に付けましょう。</p> <p>人文系では上記の4技能を発展的に伸ばすスピーチやプレゼンテーションといった活動にも積極的に取り組みましょう。</p>						
評価の規準	<p>1 知識・技能 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる。</p> <p>2 思考・判断・表現 コミュニケーションを行う場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解し、これらを活用して適切に表現したり、伝え合うことができる。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>						
評価の方法	上記の観点を踏まえ、定期考査及び小テストの成績、課題の提出状況、授業への取組を総合的に判断して評価を行います。						
	単元			主な学習内容			
1学期	Lesson 1 Play me, I'm yours. Lesson 2 Ethical Fashion Lesson 3 One for All, All for One Lesson 4 Vending Machines			ストリートピアノと社会やエシカルファッション、ラグビー選手へのインタビューや自動販売機に関する発表について学びます。受け身や現在完了、過去完了、関係代名詞の非制限用法などについても学びます。			
2学期	Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue Lesson 6 New Banknotes Lesson 7 Some Secrets about Colors Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem			点字について、新紙幣とキャッシュレス社会、色の効果について、納豆パウダーと汚水浄化について学びます。 助動詞+受け身や、形式目的語の用法、前置詞+関係代名詞、関係副詞 where や助動詞+ have +過去分詞の用法についても学びます。			
3学期	Lesson 9 Flying after Her Dream Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots			ベシー・コールマンの経歴や夢について、ロボットと仕事について学びます 仮定法過去完了や分詞構文についても学びます。			

令和5年度 シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	学年・類型	5年	必修・選択	単位数(週時数)	2
教科書	Vision Quest English Logic and Expression II Hope (啓林館)							
副教材等								

学習の目標	<p>「論理・表現Ⅰ」の学習内容を踏まえ、「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、論理の構成や展開を工夫して詳しく伝えたり、伝え合ったりすることができる能力を養う。具体的な活動と領域は次の通りである。</p> <p>ア 日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、詳しく話して伝え合える。</p> <p>イ 日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、詳しく話して伝えられる。</p> <p>ウ 日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、詳しく書いて伝えることができる。</p>
学習の方法	<p>文法・表現を学び、多様な語句や文を用いて、意見や主張、課題の解決策などを話して伝えたり、書いて伝えたりします。授業に集中し、予習、復習を必ず行うことで、表現力をさらに伸ばすことができます。</p>
評価の規準	<p>1 知識・技能 英語の特徴やままりに関する事項を理解し、目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝え合うことができる技能を身に付けている。</p> <p>2 思考・判断・表現 目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。</p>
評価の方法	<p>上記の観点を踏まえ、授業中の活動、発表、課題の提出、小テスト・定期考査などを総合的に判断して評価を行う。</p>

	単元	主な学習内容
1 学期	L1 What is your future goal ? L2 What school events do you have? L3 Who is the best athlete? L4 Is social media safe?	子どもの夢の仕事、学校で新しい友達を作る方法、スポーツの歴史、SNSで気を付けるべき点について、パラグラフの構成に意識して自分の意見や主張を話したり、書いたりして伝えます。適切な主語や動詞、つながりの言葉、適切な時、推量などの助動詞を用いて、論理構成を意識してまとまりのある文章の書き方を学びます。
2 学期	L5 How does overusing energy affect us? L6 What are some differences? L7 Do all Japanese people need to speak English? L8 Is Japan open enough? L9 What if you were rich?	環境問題、異文化理解、事実と意見の違い、言語教育、日本の社会の問題点、様々な文の構造を理解し、自分の意見や主張を話したり、書いたりして伝えます。修飾を用いた情報の加え方、仮定、数量など、適切な文の構造を理解し、文を組み立てて、表現する文の幅を広げます。また、仮定の状況を想定し、自分の考えや主張をまとめたり、クラスメートと話して伝え合ったりして、スピーチの原稿を作成します。
3 学期	L10 How might AI affect our lives? L11 What is a healthy life? L12 What is important when we sell chocolate?	AIと共存する方法、健康とストレス、ビジネスについて、比較や否定を表す表現を用いた文の構造を理解します。プレゼンテーション、ディベートやディスカッションを通して協力しながら論理的に発言する方法を学びます。

令和5年度 シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	学年・類型	6年 (必修)・選択	単位数(週時数)	4
教科書	Revised BIG DIPPER English CommunicationⅢ (数研出版)						
副教材等	DataBase 4500 (桐原書店)、Change the World [Approach] (いいずな書店)						

学習の目標	英文を聞いたり読んだりして情報や考えを的確に理解したり、話したり書いたりして適切に伝えたりする能力を伸ばし、その能力を活用して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。
学習の方法	スラッシュリーディング、サイトトランスレーション、スキミング、スキヤニングなどのリーディングスキルについて学習し、それらを用いて様々なジャンルの英文を読むことで、より実践的な読解力を身に付けます。
評価の規準	<ol style="list-style-type: none"> 1 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、英語を読む言語活動を積極的に行い、コミュニケーションを図ろうと努力している。 2 外国語表現の能力 文章の内容や自分の解釈が聞き手に伝わるように効果的に音読するなどして表現できる。 3 外国語理解の能力 さまざまなジャンルの英語を読んで、必要な情報や書き手の意向などを理解できる。 4 言語や文化についての知識・理解 英語を読むことの学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できる。
評価の方法	上記の観点を踏まえ、定期考査、小テスト、出席状況、授業態度、活動・発表、課題の提出などを総合的に判断して評価を行う。

	単元	主な学習内容
1学期	SECTION I Lesson 1~14	<p>様々なジャンルや形式の英文を読む際に、有効なリーディングスキルについて学習し、文章の展開を意識しながら読み、必要な情報を得て、概要や要点をまとめる力を身に付けます。</p> <p>時間順序、例示・列挙のディスコースマーカを意識し、情報を整理しながら読む力を身に付けます。</p>
2学期	SECTION I Lesson 15~16 SECTION II Lesson 17~21 SECTION III Lesson 22~24	<p>対比、原因・結果のディスコースマーカを意識しながら英文を読み、世界で起こっているさまざまな出来事について書かれた英文を読み、英語で考え、理解する力を身に付けます。フィクション・エッセイを読み、自己のリーディング技術の向上に活かします。対話文を聞いて、概要や要点を理解する活動を行います。</p>
3学期	SECTION III Lesson 25 FURTHER READING 発展的学習 大学入試への対策	<p>学習したリーディングスキルを課題に応じて使い分け、より実践的な読解力を身に付けます。</p> <p>進路目標の実現のため、学習内容の定着及び発展的な学習を行います。</p>

令和5年度 シラバス

教科	外国語	科目	英語表現Ⅱ	学年・類型	6年	必修・選択	単位数(週時数)	2
教科書	EMPOWER ENGLISH EXPRESSION II (桐原書店)							
副教材等	Next Stage (桐原書店)、アップリフト英作文 (Z会)							

学習の目標	<p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。具体的な言語活動は次の通りである。</p> <p>ア 与えられた話題について、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。</p> <p>イ 主題を決め、様々な種類の文章を書く。</p> <p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。</p> <p>エ 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。</p>
学習の方法	<p>文法・表現を学び、与えられた課題について、文章、パラグラフ、要約文などを書きます。また、自らの意見を、適切な表現を用いて伝えることを学びます。授業に集中し、予習、復習を必ず行うことで、表現力を伸ばすことができます。</p>
評価の規準	<ol style="list-style-type: none"> 1 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続けている。 2 外国語表現の能力 その場の状況、聞き手の反応、話題、伝えようとする内容や気持ちなどに応じた、適切な速度や声の大きさを音読することができる。 3 言語や文化についての知識・理解 場面や状況、目的に応じた表現や論理の展開を表す表現についての知識を身に付けている。
評価の方法	<p>上記の観点を踏まえ、定期考査、小テスト、出席状況、授業態度、活動・発表、課題の提出などを総合的に判断して評価を行う。</p>

	単元	主な学習内容
1 学期	Part 2 Lesson 1 ウォルト・ディズニーの生涯 Lesson 2 楽器の種類 Lesson 3 電車派？飛行機派？ Lesson 4 オリンピック種目はどのように決まる？ Lesson 5 多言語学習の必要性	<p>英語を用いてそれぞれの場面において効果的に相手に伝える文章表現をするための技法を学びます。学んだ技法を使って、自分の興味ある題材でプレゼンテーションができるように英文を書き、聴衆に話します。</p> <p>あるテーマに基づいて、賛成か反対かの立場に立って、相手を効果的に説得する話し方について研究し、互いの話を聞いた後、感想を述べ合い、その感想を元に改善をすることによりよい話し方に結び付けていきます。</p>
2 学期	Part 3 Lesson 1 週末は何してた？ Lesson 2 Soldiers Lesson 3 海外への修学旅行 Lesson 4 野球はオリンピック種目にふさわしい？ Lesson 5 英語以外の外国語も学ぶべき？	<p>英語を用いて言葉の機能に着目しながら、多彩な表現の仕方を学びます。日本語と英語の認識の違いや、文章構成を学び、まとまりのある文章を書く練習を通じて、大学入試二次試験に対応する表現力を高めます。</p>
3 学期	発展的学習	<p>大学入試二次試験の過去問を解いて、基礎・基本の定着を確認します。英作文等の、記述問題にも取り組みます。</p>

令和5年度 シラバス

教科	外国語	科目	時事英語	学年・類型	6年・人文 必修(選択)	単位数(週時数)	2
教科書							
副教材等	Watching NEWS 2022-2023 (浜島書店)						

学習の目標	社会や世界に関心を持ち、思いを巡らせることによって、日々の自分の生活や未来の社会をよくする糧を得ることを目指します。将来、世界のさまざまな地域の人々と出会い、友人になる心的態度を養います。また、英語の4領域(「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」)のバランスのとれた伸長を目指します。	
学習の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 聞く力をつけるために、まとまった分量の英文を集中して聞きましょう。 2 話す力をつけるために、英文の内容に関する意見交換を積極的に行いましょう。 3 読む力をつけるために、スラッシュリーディングのテクニックを身に付けましょう。 4 書く力をつけるために、英文の内容に関する意見、考えを英語で積極的に書きましょう。 	
評価の規準	<ol style="list-style-type: none"> 1 コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で言語活動に参加することで、自己を表現し、他者とのコミュニケーションを図ろうと努力している。 2 外国語表現の能力 さまざまな話題やテーマについて、情報や考えなど、相手に伝えようとする内容を、英語で話したり書いたりして、適切に表現することができる。 3 外国語理解の能力 表現の基礎となる文法事項を理解し、英語を読んだり聞いたりして、情報や考えなどを理解することができる。 4 言語や文化についての知識・理解 英語の学習を通して、言語や文化についての知識を身に付け、テーマについての理解を深めることができる。 	
評価の方法	上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、活動・発表、課題の提出などを総合的に判断して評価を行います。	
	単元	主な学習内容
1 学 期	<ol style="list-style-type: none"> 1 Professional Climber Nonaka Miho 2 18-Year-Olds Are Adults 3 Qatar's Culture and Industries 4 Kudeju Furniture System 5 The oldest Settlement on the Earth 6 Street Artist Banksy 7 Digital Age Music Group YOASOBI 	<p>環境、文化、社会、スポーツなどの分野における世界の時事問題について学びます。</p> <p>様々な音読活動やコミュニケーション活動を通して、段階的に内容理解を深めていきます。</p>
2 学 期	<ol style="list-style-type: none"> 8 Space Travel Is Now a Reality 9 Crowdfunding 10 Rabbit Island in the Seto Inland Sea 11 Climate Scientist Received Nobel Prize 12 A Lifetime in 1.5 Billion Beats 13 New Kinds of "Meat" 	<p>社会、自然、科学、文化などの話題などを読むことを通して、積極的に意見交換を行います。リテリングやシャドウイングなどに取り組み、英語の発信力を身に付けさせるとともに、題材に対する考えを深めていきます。</p>
3 学 期	<ol style="list-style-type: none"> 14 Carbon Neutrality by 2050 	<p>環境に関するテーマを通して、問題解決能力を養います。また発表活動を通して、論理的に発表する力を身に付けます。</p>